

ご意見やご要望があれば記入して下さい。

1	認知症本人、家族の生の声、あたたかい介護の実際。
2	就労支援では実際につながるケースよりもない方が多い。具体的に繋がる支援の経過等話をしてほしかった。
3	ご家族の話が聞けて本当に専門職なのに知らない事が多く、恥ずかしい、もっと知っていこう、考えようと思いました。貴重な機会をありがとうございました。
4	福祉、医療、行政関係者の参加が多いようですが、一般の方にもこのようなセミナーに参加しやすい方法（内容・アナウンス等）検討をお願いします。
5	若年性認知症の方への就労支援をもう少し具体例を出して頂きたかった。→上手くいった点。支援につながらなかった等。
6	若年性も高齢者の認知症もつながっていることを強調していくこと。 個人的に介護者や本人の相談に応じられる場所を地域に多く作ること。
7	法的取組をされている方々の発表内容も大変興味深いのですが、具体的に利用されている方々の率直な意見との温度差に対する策案や例を知りたいと考えます。また、法・身体・栄養・医療の個別と総合的なのと両方で、個別のコーディネーター（ケアマネさん以外にも）の育て方、なり方、実情に興味があります。 各所からのご報告内容はとても濃く立派なものだと判ります。しかし短時間に目いっぱい話されるほどに、「実際」との隔たりが気になります。いっそ、素晴らしい資料は事前に配布もしくはダウンロードできるようにして、お困り症例、失敗症例と考えられる原因だけを発表していただくのも有り難いです。小中高大への出前授業も有り難いです。
8	特に問題ないと思います。
9	認知症の専門職の時代の育成の強化と体験を通じてどのような状態を体験してもらう。 職場での苦労や体験を介護する人から話してもらい、される側からの視点を考えて制度を構築していく。
10	埼玉以外にも都内等で開催して頂けると大変有り難いです。
11	知らない事を知ることができました。私たちも普及啓発、大切なんだなと感じました。
12	ぜひ、認知症サポーター養成講座のように、企業内でも行えるような仕組みを作ってください。
13	貴重な機会をいつもありがとうございます。セミナーを聴いて終わりではなく、地域に還元できるよう努めます。
14	介護と障害者と縦割で使えるものがどれかがとても不明瞭、不親切、病院が発症から回復期のリハビリをうけられる制度の説明が全くないまま在宅に切りかえられてしまい、途方にくれた。ケアマネジャーのレベルアップを望む。
15	認知症に限らず若年の障害の場合には、家族の就労、資金支援等も重要であると考えます。障害者本人の就労等のみならず、家族への支援の視点も含め対応して頂けると良いのではないかと考えます。介護を要する家族は正規就労困難であり、かつ低賃金労働の為、休日等を設定することが出来ず。またその為相談窓口に助けを求めることも出来ないという負の連鎖を生じさせる可能性が非常に高いといえます。
16	とても勉強になりました。自分の仕事にも、また個人的にも考えさせられた研修会でした。ありがとうございました。

ご意見やご要望があれば記入して下さい。

17	参加される皆様方がこの問題に情熱を持って取り組んでいることが良く分かり、心強く思います。このセミナーによってネットワークが拡大していくことを祈念いたします。
18	どのような方法や周知先にセミナーの案内をしているのが分からないが、国や自治体、企業に期待することに記載した様に、一般社会民間への案内をもっとすべきではないか。また興味を持ってもらえる周知の仕方を工夫する必要があるのではないか。 ※企業年金連合会からの参加要請があり参加したが、この様に直接は関係のないところにもどんどん呼びかけを。
19	病院の中に若年性認知症の専門知識をもったスタッフを置く、かつ派遣していくことが重要だと思う。地域の町内会などに説明しているんな制度をPRしていくことが重要だと思う。
20	生の介護のお話聞けて、1時間あっという間でした。私も介護経験者ですが、岩佐まりさんの言う「怪奇現象」に共感し、共感することで、安心というか私だけでないという安心感がうまれました。涙ありのお話、私まで涙でした。 ※お話がとても上手です。大人数をとりこにしていました。ブログ読み続けます。お互い頑張りましょう。在宅賛成！私も在宅でした。24時間みてあげたいですものね～ ※航空会社も各社員に、認知症の方のご搭乗にあたっての推進VTRを教材として使っています。ただまだ体不自由の方へのcareの方に重きをおいています。認知症の方が単独で登場されることはまだ少ないです。（付添者とご一緒が多いです。）
21	セミナーの内容はとても良かったと思います。